

平成 28 年度奈良市食育推進会議録

開催日時	平成 29 年 2 月 13 日（月）午後 1 時 30 分から午後 3 時 20 分まで	
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 9 階 9-1 会議室	
出席者	委員	出席委員 8 人（欠席委員 1 人）
	事務局	7 人
開催形態	公開（傍聴人 0 名）	
担当課	保健所医療政策課	
議題	1	平成 28 年度の食育推進事業について
	2	食育推進事業の今後の取り組みについて

議事の概要及び議題・主な意見等

1. 平成 28 年度の食育推進事業について

事務局から本市の食育の取り組み実績及び食育つながるネット事業の実績を報告し承認を得た後、質疑応答を行った。

- ・食育セミナーのそれぞれの日時及び内容と参加人数は
(事務局) 第 1 回は 6 月 26 日(日)に、「おいしく食べて健康に！～地域の食文化・ネットワークをいかして～」と題して上越教育大学教授の講義とグループワークを実施し約 40 名が参加された。第 2 回は 11 月 21 日(月)に、「飲食店の立場から食育を考える」と題して飲食店組合長の講話と交流会を行い約 60 名が参加された。
- ・食育フェスタ 2016 について、参加者は多かったがブースを訪れてもさっと見て終わる方もおり、しっかり参加していただける方は限られていた。
- ・多くの団体が参加するイベントは事前の綿密な打ち合わせがある方がよい。
- ・同時開催の歯っぴいフェスティバルでどのような催し物があるか事前に知りたかった。コラボできるものはコラボしたい。実施する側も楽しめるものがよい。
- ・歯のイベントと同時開催だと試食などがあまりしていただけない。
- ・食育だけでイベントを開催すると、参加人数が減る可能性がある。
- ・食育推進計画のなかに歯を健康に保つという視点もはいつている。
- ・食育カフェの取り組みを掲載した食育だよりは実施した店舗に掲示しているとのことだが、他でも見られるとよい。
- ・帝塚山大学、近畿大学の学生の参加が多い理由は、なぜ他の大学は参加が少ないのか。
(事務局) 食育ネット参加団体であること、管理栄養士実習生を保健所で多く受入れていることが考えられる。その他の市内大学へ、食育ネットワークやイベントの案内は同様に行っている。

2. 食育推進事業の今後の取り組みについて

行政の取り組み予定について事務局が説明した後、意見交換を行った。

○食育ネットワークについて

- ・定期的に顔をあわせて会議をもつなど定期的に来ることが必要である。参加していますというだけでは活動が活発にならない。
- ・市が方向性を示し、団体としては「ネットワークに何を期待するか（何がしたいのか）」、「何ができるか」を両方だしあうことが必要である。
- ・行政予算や人員が減るなか、最後に行政の役割として残るのは調整である。そこを担ってほしい。

○その他食育推進の提案

- ・高齢者の食育があまりなされていないのではないかと。介護予防事業で高齢者と関わると、皆さん栄養バランスがわからないとおっしゃる。
- ・方向性としては栄養のバランスではないか。
- ・JAならけんのアンテナショップでの食育というものもある。
- ・奈良マラソンの飲食ブースでの食育というものもある。
- ・医師会主催の講演会の際に食育の啓発をしてはどうか。

○食育フェスタ2017(案)について

- ・どこにターゲットをしぼって行くかを考える必要がある。食育は対象が広いので、例えば1年目は子ども、2年目は大人、3年目は高齢者など順に実施することで網羅できる。
- ・歯と同時開催であるため食育という認識が薄い方もいる。歯のイベントがメインになっている。
- ・市の予算が限られているので、企業に協賛していただくなど工夫が必要。
- ・食器のリユース、奈良市ポイントの付与があると参加につながる。
- ・短時間の講演を組み合わせるのもよい。

○その他

- ・先進の自治体の事例などの情報があれば議論しやすかった。

資料

- 【資料1】 奈良市食育推進会議 委員名簿
- 【資料2】 事務局説明スライド
- 【資料3】 食育推進計画実績及び評価シート
- 【資料4】 奈良市食育推進計画概要版